

**本学で33年間続いた幼児グループの理論・原理を生かして**  
毎年実施する中で、①母子別々の活動であることでの丁寧なかかわりの必要性(母子分離のプロセスを工夫する技法の開発)②保育担当のチームワークの構築(方向性・内容性・関係性機能を意識したチーム保育)③安心・安全が実現する保育内容の工夫(衛生面・発達への配慮)などの課題が明確化しました。本学で33年間実施された幼児グループ(児童臨床実習B)の理論・原理が生かし、実施しました。

**約300組の親子との出会い**  
J A横浜では、農産物の普及や地域貢献活動、地産地消の推進などの目的でさまざまな料理教室を開催しています。乳幼児期のお子さんをもつお母さんたちが気軽に料理教室に参加できるように、本学との連携により、保育付きの料理教室を企画し、開催しています。今年度は7年目になり、これまでの取り組みで親子は延べ261組、549名の人たちが参加してくださいました。毎回のアンケートでは、また参加したい、もっと開催してほしいと好評を得ています。これまで大きな事故もなく開催できていることは、当たり前のことですが、ここまで継続できていることはうれしいことです。



# 「保育付き！子育て教室」に関する活動協力

## プロジェクト概要

- テーマ  
子育て中のお父さん、お母さんを対象とした料理教室での保育内容を企画、運営する。
- パートナー  
横浜農業協同組合(J A横浜)
- 担当教員  
田尻 さやか 助教
- 実施期間  
2013年5月～2020年3月

**参加者全員が共に育つ子育て支援の場として**  
講座の中で子育てに役立つ情報をミニ講話の形でお母さまたちにお伝えしています。教室のために用意した手作りおもちゃの紹介や家ででもできる親子遊びを紹介しています。さらに、その日の保育の様子も伝えながら進めると、日ごろの子育ての悩みを気軽に話せる子育て相談の場にもなっており、子育て支援の1つの新しい形として機能しています。  
このとりくみの保育は、「J A横浜たすけ愛の会」のみなさんと本学学生、教員が担当します。子どもたちがのびのびとすごしている姿から、学生やたすけ愛の会の皆さんは喜びを感じています。お母さんたちが料理を楽しむとともに、家とはすこし違うわが子の姿に成長や喜び、驚きを感じる機会となり、「共に育つ」ことが大切にされる子育て支援の姿勢が取り組み全体の雰囲気になつと流れています。